



に い が た
県電だより

〈 新 春 号 〉



『 海岸から望む快晴の米山 』

撮影場所・撮影日／柏崎市松波地区 平成25年 1月

【コメント】

民謡が好きな人なら、一度は聞き覚えのある「米山さんから、雲が出た」の名調子で歌われ、米山は広くその名が知られています。

山頂には日本三大薬師の一つ米山薬師堂が建ち、豊作などを祈願する米山講中の人たちによって古くから登られてきました。一等三角点の秀麗な山で、山頂からは360度の展望が楽しめます。

柏崎の黒姫山、八石山とともに、刈羽三山に数えられています。

撮影者／新潟県電気工事工業組合

柏崎支部 若井 孝 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目 次

1. 年頭のご挨拶	1
2. 平成26年度 消防関係試験実施計画（案）	6
3. 経営力レベルアップセミナーを開催	13
4. 第30回電気工事業全国大会（関東・横浜）に参加！	14
5. 第2回安全大会を開催	16
6. 各種表彰	17
7. 各支部だより	19
8. 各青年部だより	22
9. 第一種電気工事士定期講習について	26
10. 組合員の異動・変更	27
11. 組合の保険って?! 「全日電工連 グループ共済制度」	28

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101



年頭のご挨拶

2014年 年頭挨拶

理事長
小林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、自民党安倍政権のもとで進められてきた一連の経済政策、いわゆる「アベノミクス」が功を奏して、株価は6年ぶりに1万5,700円を超え、求人倍率も一倍を超えました。企業の決算では過去最高利益との声が聞かれ、景気の回復が現実的な形となって表れてきていますが、地方経済では景気回復を実感するにはいまだ少し時間が必要なのが現状です。

また、政府は電力制度改革の基本方針を閣議決定しましたが、発送電分離については、十分な供給力を確保できる目途が立っていないなか、性急な改革は経済の成長戦略に反するにとどまらず、国民生活に多大な影響を及ぼすことから、電気工事業界として昨年6月に開催されました全日本電気工事業工業組合連合会の通常総会において、反対の決議を行いました。

今、お客様が求めているのは、「安価」で「安定」した電気であり、それとともに私ども電気工事業界では、「安全」と「安心」をお客様に提供していく使命があると認識しております。

なお、昨年度の世相を表す漢字には「輪」が選ばれました。2020年の東京オリンピック・パ

ラリンピックの開催決定や、各地で相次いだ台風・竜巻・集中豪雨等による自然災害や、東日本大震災への支援の輪が広がったことが主な理由でもありました。

私どもの業界においても、災害時の情報提供・応急復旧に係わる全国電気工事（業）工業組合の連携協定締結が全日本電気工事業工業組合連合会の通常総会において承認、全国の電工組理事長による調印式が行われ、国内を網羅できる支援の輪を構築することができました。

さて、昨年、当工組は創立65周年を迎え、総代会と併せて記念式典を開催いたしました。これまで先輩組合員が築いてこられた歴史を振り返り、積み重ねてこられた実績に敬意を表すとともに、今後の業界並びに組合の発展に決意を新たにいたしました。

また、「組合員にとって、今、何が最も必要か、真のニーズは何かを十分に検討し、みんなが幸せになれる業界を目指して」、それぞれの委員会で事業を展開してまいりました。

総務委員会では、組合員数が平成7年度をピークに減少しており、組合員数の減少に応じた組合組織体制のスリム化を図るとともに、脱退時の持分払い戻しを見直して組合財務の健全化を図る。また、組合加入促進のため加入時負担額の軽減を行うことを目的に、組合組織体制の見直しについて検討を重ねてまいりました。

経営企画推進委員会では、人材育成のためのセミナーとして、「電気工事士現場力レベルアップセミナー」を継続開催するとともに、新規セミナーとして「経営力レベルアップセミナー」を開催いたしました。

技術委員会では、新たに新潟県より電気工事士免状交付等事務を受託いたしました。また、当組合が補助金交付団体となって、新潟県家庭用太陽光発電導入促進事業補助金の取扱いを開始いたしました。これにより、当組合の社会的地位並びに認知度の向上と、組合事業収益に寄与するものと思われれます。

引込線事業委員会では、東北電力(株)営業所と支部引込線会社との間で防災協定の締結を推進し、東北電力(株)配電設備に対して、災害時、地域の災害復旧を最寄りの支部引込線会社並びに協力店が対応できる仕組み構築に取り組みました。

また、昨年度に引続いて引込線事業組織における安全・安心の確立のため、安全大会を開催いたしました。

さて、いよいよ本年4月より消費税が8%に引上げられます。引上げ前には、駆け込みの住宅着工等から電気工事の需要増も見られましたが、今後の消費税引上げの影響については定かではありません。

景気の回復基調が今後とも継続するかは不透明感が残るところですが、この様な時にこそ「万人は一人のため、一人は万人のため」という協同の精神に立ち返り、組合事業運営に取り組んでまいりる所存であります。

総務委員会では、組合組織体制の見直しにつ

いて、これまでの検討結果を具体化するため、定款変更等必要な手続きを行ってまいります。また、引続き組織体制並びに事業の見直しと効率化に、取り組んでまいります。

経営企画推進委員会では、初めての試みとして技術委員会と共催で「スマートハウス関連研修会」を開催いたします。組合員のために太陽光発電・電気自動車等新技術についての施工技術の習得と、併せて新技術を駆使したスマートハウスにおける補助金・電気料軽減等の営業ツールの理解に役立てていただくこととしております。

技術委員会では、組合員の労働災害防止のため、労働安全衛生関係講習会を鋭意開催するとともに、組合員の技術向上のため、新たな技術講習会の開催について検討を行ってまいります。また、電気工事士免状交付等事務受託に向けて取り組んでまいります。

引込線事業委員会では、各支部引込線会社並びに協力店の技術力向上のため、各種講習会並びに訓練を継続開催するとともに、各支部で開催する引込線工事实技訓練を支援いたします。また、昨年度に引き続いて安全大会を開催し、ゼロ災害の達成に取り組んでまいります。

終わりに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力(株)の皆様、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2014年 年頭のご挨拶

新潟県知事

泉田 裕彦

2014年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月には食料安全保障や農村活性化等に取り組むWFO（世界農業者機構）の総会が開催されました。「瑞穂の国」たる我が国は、農業を通じて社会が形成され、文化が育まれてきた独自の風土があります。その中で新潟県が日本初の開催地に選ばれたことは、日本の食料生産基地として本県の果たす役割の大きさを改めて認識いたしました。

6月には日ASEAN次官級交通政策会合が開催されました。新幹線、高速道路、港湾、空港など交通インフラが整備されている新潟において、ASEANで質の高い交通を構築・推進していくため今後10年間の新たな方向性について議論を進めることが「新潟プロセス」として合意されたことは、大変意義深いものであります。また、来春には北陸新幹線が開業します。県としてはこの北陸新幹線開業や、今春開催される新潟デスティネーションキャンペーンを一つの契機として、首都圏に加えて関西圏とも交流が活発化することを大いに期待しているところです。そのため、本年、大阪市に県産品の販売や観光情報の提供等を担う関西圏における情

報発信拠点を新たに設置いたします。

このほか、9月には佐渡地域が「日本ジオパーク」に認定されました。佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた機運もより一層高まっています。さらに、11月には次世代のエネルギーとして注目されるメタンハイドレートが上越沖の海底で確認されました。日本書紀にも「燃ゆる水」を越の国から都に献上したという記述がありますが、今後は、越の国から産出される「燃える氷・凍れる宝」が人々の暮らしを豊かにする可能性が出てきました。技術開発や未来への投資を進めたことにより、ダイナミックに事象が動く時期がやってきていると思います。

また、本年は、平成16年に発生した中越大震災から10年の節目を迎えます。この間、新潟県内外で様々な災害が発生しています。本県におけるこの10年間の復興の取組を教訓とし、全国の災害復興に活かすことのできる「未来への記憶」となるよう発信していくことが本県の果たすべき役割であり、これまで全国の皆様からいただいたご支援に報いることと思っております。

さて、昨年来、行きすぎた円高の是正やデフ

レ脱却の動きが見え始めていますが、中小企業が多い地方では、景気回復の効果が未だに十分及んでいません。また、本年4月に予定されている消費税増税後の景気は、駆け込み需要の反動減があると考えています。県としては、県内経済の持続的な発展に向け、できうる限りの取組を行って参ります。

昨今は地球温暖化対策のほか、東日本大震災以降、安心、安全なエネルギー供給体制が求められ、再生可能エネルギーの利用促進、省エネルギーシステムの利用拡大といった動きが急速に進む中で、皆様の役割がますます大きくなってきています。

こうした中、貴組合では環境に配慮した新技術の調査・研究等にも意欲的に取り組まれるとともに、家庭用太陽光発電の導入推進に向けた取組のほか、再生可能エネルギーやLEDの普及

促進など、再生可能エネルギー・省エネルギー関連事業の推進に向けて活発な取組を展開されておられることに、大変心強く感じているところです。

今後も、電気工事における安全確保という「基本」の上に立ちつつ、高度な技術への取組を強化し、環境やエネルギーなど新しい分野へ積極的にチャレンジしていくことで、時代の要請に応えながら、優れた技術集団として、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続きご尽力くださるようお願い申し上げます。

終わりに、貴組合のご発展と皆様のご多幸をお祈りしまして、新年のごあいさつといたします。



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地

TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843



年頭のご挨拶

2014年 年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

坂本 光弘

あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、当社事業につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、かつて経験したことのない大きな被害をもたらした東日本大震災から早いもので丸三年を迎えようとしております。

当社は、昨年、震災により甚大な被害を受けた原町火力発電所（福島県南相馬市）の営業運転再開により、被災した火力発電所全ての復旧が完了し、今冬の電力需給の見通しは、お客さまの節電定着分を織り込み10%前後の供給予備率を確保できる見通しとなりました。

貴組合の皆さまにおかれましては、引き続き、上手な電気の使い方などによる無理のない範囲での節電にご協力をお願いいたします。

<徹底した経営効率化への取り組み>

当社は、震災により、甚大な設備被害や、原子力発電所の長期停止などの厳しい経営環境に直面することとなり、緊急的な支出抑制や、人件費の削減など経費全般にわたり徹底した効率化に取り組んでまいりました。

しかしながら、燃料費をはじめとする膨大なコストの増加を自助努力だけで全て吸収することができず、これ以上の財務体質の悪化は電力の安定供給に支障をきたす恐れがあることから、やむなく昨年9月1日から電気料金の値上げを実施させていただきました。皆さまには大変ご迷惑をおかけすることとなり、改めてお詫び申し上げます。

今後も、あらゆる分野での経営効率化に取り組み、経営基盤の回復を図ってまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

<地域の発展に向けた取り組み>

現在、当社を取り巻く経営環境は、国のエネルギー政策の見直しや小売り全面自由化といった電力システム改革など、大きな変化を迎えようとしております。

当社は、創業以来、「地域の発展なくして当社の発展なし」という経営理念のもと、環境がどのように変化いたしましても、貴組合の皆さまをはじめ「地域との絆」を一層深め緊密な関係を築き、電力の安定供給を通じて地域の発展に貢献し、地域とともに成長し信頼され選択いただける東北電力を目指してまいります。

<お客さまのエネルギー利用効率向上に向けたご支援>

当社では、家庭用分野では、照明や給湯・厨房・暖房の電化システム機器など、事業用分野では、環境性・省エネ性に優れたヒートポンプを主軸とした業務用電化システムの提案を行っております。

これら取り組みについては、貴組合の皆さまとの連携強化によって、より一層の普及拡大に努めてまいりたいと考えておりますので、ご協力をいただきますようお願いいたします。

<ゼロ災害に向けて>

昨年7月、低圧引込線作業中に梯子の最上段からバランスを崩し、地上5メートルより墜落

し死亡するという大変痛ましい重大災害が発生いたしました。

本災害については、梯子使用の適否判断を含めた基本ルールが守られていなかったものであり、類似災害を根絶するよう、一人ひとりが労働災害を「起こさない」「起こさせない」とい

う強い決意を新たにし、ゼロ災害の達成に向けて努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

終わりに、貴組合の皆さまにとって幸多き一年となりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

平成26年度 消防関係試験実施計画 (案)

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

1. 危険物取扱者試験実施計画

(1) 試験日、受付期間、試験の種類及び試験場所

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H26. 6. 7 (土)	H26. 4. 18 (金) ～ 5. 6 (火)	H26. 4. 21 (月) ～ 5. 9 (金)	甲種 第1～6類 乙種 第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市 三条市 佐渡市
H26. 8. 30 (土)	H26. 7. 11 (金) ～ 7. 27 (日)	H26. 7. 14 (月) ～ 7. 30 (水)	甲種 第1～6類 乙種 第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市 新発田市
H26. 11. 23 (日・祝)	H26. 10. 3 (金) ～ 10. 19 (日)	H26. 10. 6 (月) ～ 10. 22 (水)	甲種 第1～6類 乙種 第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市
H27. 3. 7 (土)	H27. 1. 10 (土) ～ 1. 25 (日)	H27. 1. 13 (火) ～ 1. 28 (水)	甲種 第1～6類 乙種 第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市

2. 消防設備士試験実施計画

(1) 試験日、受付期間、試験の種類及び試験場所

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H26. 6. 21 (土)	H26. 5. 4 (日) ～ 5. 18 (日)	H26. 5. 7 (水) ～ 5. 21 (水)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H26. 10. 19 (日)	H26. 8. 29 (金) ～ 9. 14 (日)	H26. 9. 1 (月) ～ 9. 17 (水)	甲種 特 類 甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H27. 3. 14 (土)	H27. 1. 23 (金) ～ 2. 7 (土)	H27. 1. 26 (月) ～ 2. 10 (火)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。
 ※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号

T E L 025-285-7774 F A X 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>



年頭のご挨拶

組合組織の改革に向けて

総務委員長

本 山 秀 樹

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様には穏やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、安倍内閣で推し進めるアベノミクスによる円安、株高の効果もあり、製造業を中心に緩やかではありますが順調な景気回復基調にあるように思えます。そして、2020年の東京オリンピック招致も決定し、世の中の雰囲気は多少明るくなりつつあるようにも感じます。また、今年4月の消費税増税に向け、駆け込み需要とも思われる住宅建設の増加が顕著であります。私達電気工事業界においてもこの傾向が永く続くことを望む次第であります。

さて、東日本大震災と福島第1原発事故から、3年が経過しようとしています。今尚被災地に大きな傷跡を残しています。しかしながら、ようやく本格的な復興の動きも出て来たようであります。あの震災後、今なお全国の原子力発電所は発電を停止したままであり、節電、電気エネルギーのあり方など私たち業界、組合を取巻く環境は大変厳しいものがあります。「安心、安全」な電気の供給のあり方を考えつつ、強い組合組織の構築に向け、その方向性を総務委員会として検討していきたいと思っています。一昨年に実施した「組合員の実情・ニー

ズの把握」のためのアンケート調査をもとに、昨年からは組合組織のスリム化、組合活動の活性化に向け、具体的な項目について総務委員会として検討してきました。具体的には、総代数、理事定数の見直し、組合新規加入要件の緩和などです。定款の一部変更も必要であり、今年の通常総代会に提出できるよう総務委員会として鋭意努めてまいります。関係各位のご協力をお願い申し上げます。

恒例の三役、総務委員会と各支部の地域懇談会を昨年は、新津支部と上越支部で開催しました。さまざまな問題、組合活動にご意見、ご質問を頂き感謝申し上げます。

最後になりましたが、総務委員会の活動として県工組市町村議員協議会との懇談会を毎年開催しています。顧問の佐藤参議院議員様、塚田参議院議員様、相談役の市川県議会議員様、高倉県議会議員様を交えての懇談会ですが、新潟県における我々電工の公共工事設計労務単価は、全国平均に比較してもまだまだ低い状況にありますし、若手技術者の定着、育成など業界を取り巻く諸問題は多々あります。県工組政治連盟としての意見具申を三役とともに積極的にしてまいりたいと思っています。組合員皆様のご協力をお願い申し上げます。



年頭のご挨拶

今このチャンス、まず1つお客様への省エネ提案！

経営企画推進委員長

兼 古 清

新年あけましておめでとうございます。
新しく当委員会の委員長を務めさせていただいております、長岡・ミドリ電気の兼古でございます。宜しくお願い致します。又、日頃は当委員会の運営に御理解、御協力をいただいております事に深く感謝申し上げます。

皆様ご存知の通り、当組合は社員4名以下の組合員さんが半分以上を占めております。毎日、社長自ら現場に出て活動している組合員さんが多くを占めている事を忘れず、その多くの皆様方が考えている事、感じている事を委員会活動に反映させていく事が大切であると思っております。

当委員会は「エコ研究部会」「セミナー部会」「保険部会」の3つの部会で構成されております。

まず、「エコ研究部会」では、“自分達の仕事は自分の手で創り出そう”今までの建設、建築業界の中での仕事プラス自分のお客様を創り出して行こうという事を皆様に呼び掛け、その実行を働きかけております。全日電工連が15年以上前から前面に出して取り組んでおります“提案型技術営業”の実践であります。昨今、景気浮揚策として我々の業界に関する省エネ機器を対象とした補助金・優遇税制等の施策が多数出されております。LED照明、省エネ空調機、太陽光発電システム関連等、まさに私達の業界を後押ししている施策が目白押しです。この部会ではその新しい情報、実行した成功例・方法等を皆様方に早くお知らせし一緒に実践していきたいと考えております。又、「製・販・工

懇談会」においても業界としての取組、又規律を踏まえた協力関係等を今後も話し合っていく予定がすでに組まれております。

「セミナー部会」においては人材育成という観点から、経営者を対象とした“経営力レベルアップセミナー”、社員さんを対象とした“現場力レベルアップセミナー”等多くを企画し少しでも多くの皆様方から参加していただき、喜んでいただけるように活動しております。又、今年からは技術委員会と歩調を合わせ、同じような内容のセミナーは合同で開催する事とし、皆様方から参加しやすく、わかりやすい運営に努める事になりました。

「保険部会」においては組合としてのスケールメリットを生かし、少しでも組合員の皆様に有利になるような保険を提案させていただくと同時に、時代によって変化する保険制度について早く情報提供させていただきます。又、組合員さんと非組合員との差別化についてもこの部会においてお役立て出来る事がないか真剣に考えているところでございます。

各部会とも“組合員さんのためになる事をやる委員会！”これを基本の考えとして進めていきたいと思っております。

久しぶりに我業界への追い風が吹くこのチャンス、今年こそ皆様方と共に『まず1つお客様への省エネ提案』を実践して確かな手ごたえを掴み、そして今年も良い年となります事を願ひまして新年の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

時代の端境期で新しい仕事にチャレンジ

技術委員長

齊 藤 隆

謹んで新年のお喜びを申し上げます。
皆様方に置かれましては、清々しい新年をお迎
えの事と心よりお喜び申し上げます。

技術委員会と致しましては、25年度事業も大
半を終了し2～3の事案を残すのみとなり、皆
様の御理解御協力の賜物と感謝申し上げます。

昨年は、上越の火力発電所で引き込み線工事
中、梯子からの墜落死亡事故が発生しました。
電気工事経験ベテランの方がお亡くなりになら
れました。時間に追われていたのか、ほんの少
しの甘え油断が大きな事故に成ったと考えられ
ます。

話は変わりますが、円安で輸出の数量が伸び
たものの、原発停止で発電用燃料の拡大で貿易
収支が一昨年同様赤字になり、また、デリバテ
ブとか色んな契約がされている国際社会で、日
本は経常収支も赤字に転落と言われておりま
す。誠に御寒い日本の現実がここにあります。
「貿易経常収支が赤字でも何ら問題無いんです」
と言っている(?)経済学者もいますが、自分
の会社に置き換えてみても長期の赤字は体力の
消耗をきたします。

今年の技術委員会は、安全面では「安全は全
ての事柄に優先する」KY活動の重要性を、も
う一度アピール啓蒙したいと思います。初心者
からベテランまで、KY等の安全講習会に参加
しやすい方法を作って行かなければならないと
考えています。

また、技術面では時代の要請に応えるため、
昨年同様省エネ、創エネ、それをコントロール
するスマートグリッド技術を前面に出した技術
講習会や、技術を習得しやすい方法を考えて、
仕事に繋げて行ければと思っています。

何れにしても私達は時代の端境期にいるわけ
ですので、新しい仕事に皆でチャレンジし、私
達の業容を拡大して行きましょう。この電気工
事業界が一番、形が変わる時代の変遷について
行ける地域密着型業界と信じています。

最後に皆様と一緒に知恵を出し合い、一緒に活
動して業界を盛り上げて行きたいと思っていま
す。

今年も皆様にとって良い年で有ります様、祈
念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

引込線事業の確実な一步をめざして

引込線事業委員長

荻 莊 賢 一

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、円安、株高などの効果もあり少しずつではありますが、景気回復基調にあるように思われます。しかし震災以降、全国の原子力発電所は停止したままであり、発送電分離という方向性の中、電気エネルギーのあり方など、我々にとって身近な問題が、非常に不透明となっている状況であります。しかしながら組合員の知恵を総動員すれば、必ず道が開けると確信致しております。

この様な環境の中、年度当初より我々の委員会としては、引込線会社協議会の意見を踏まえながら、仕事量の拡大に向けて、関係各位と協議を重ねてまいりました。

一昨年より東北電力様と進めてまいりました、「災害時における引込線会社への請負付託」につきましては、それぞれの営業所と支部並びに引込線会社の間で、協定を結ぶことができる環境が整いました。実績はこれからとなりますが、爆弾低気圧、暴風雪などの、引込線被害に

対し地元の引込線会社として、お客さまの声に即座に対応できる環境が整うと同時に、電気の供給業者としての社会的な地位の向上が期待されるところであります。

また、委員会としては「安全第一」を掲げ、絶対に事故をおこさないということを柱に、「基本を大切に」を実践してまいりました。昨年11月には、一昨年に引き続き「第2回安全大会」を開催させて頂き、多くの皆様方からお集まり頂き、その思いを一つにしました。東北電力様にもご参加頂き、組合活動のご理解とご認識を深めて頂き、高い評価を頂いたところであります。

非常に厳しい社会環境の中ではありますが、様々な変化に対し、スピーディーで適切な対応を取るために、皆様方の英知をお借りしながらこの厳しい時代を乗り切って参りたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

平成26年 年頭のご挨拶

青年部会長

品田 史夫

新年、あけましておめでとうございます。

平素、新潟県工組青年部の活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

平成25年6月8日に行われた新潟県工組青年部理事総会におきまして、再度会長職をさせていただくこととなりました。その思いは一つです。電気工事は電気工事の専門業者に、お施主様から直接発注をしていただくための法改正の議論を行うべきと考えました。これを東北七県から全日電工連へ、国へ、我々の思いを届けることが、新潟県青年部の成すべきことと考えています。

今年の4月からは消費税が増税されますが、増税前の駆け込み需要の増加や、アベノミクスの経済効果により、建設投資は現在ピークを迎えています。我々の仲間に加え、建設工事の職人不足は慢性的です。

今年の方向性として以下を考えました。

- 消費税増税後の建設投資の一時的な落ち込みに備える事
- 地に足をつけて、自社の顧客を大切に、そこから1歩踏み出し、コツコツやる事

新潟県工組青年部のモットーは「楽しんでいこー！新潟県青年部」です。新潟県内252人の青年部が楽しめる事業、企画を皆さんと一緒に作っていただければ幸いです。本年もよろしく願いいたします。

ここに青年部副会長3名より各委員会事業等についての平成26年度抱負をご紹介します。



情報委員会に関して

担当副会長 久保田 一

新潟県の青年部は全国でみても上位の規模であり、30年以上の歴史に裏付けされているように親会からの理解と強力なバックアップを受け、全国に誇れる様々な活動をさせていただいております。

中でも、毎年開催している会員交流スポーツ大会は、全県の青年部会員が一堂に会し交流する大変有意義な行事となっております。平成26年度は新津支部が主管となり開催されます。

また、当委員会では青年部の情報共有の要となっているイントラネット（サイボウズ）の更なる活用に力を入れていきます。会員全員をつなぐこのツールを活用し、一方的な県からの情報提供にとどまることなく、会員相互の情報提供や交流に使っていただくことが目的です。

これらの取組みは今年度も様々な形で行って参りましたが、成果は少しずつですが出ています。これを県に出ている役員だけの恩恵とすることなく、スポーツ大会や各種行事で顔を合わせた仲間と、その後サイボウズ

でも交流するきっかけとしていただければと思います。このような青年部の活動を通じ、互いに刺激や閃きを得、各自がそれぞれの立場で自己研鑽し、切磋琢磨し、業界全体の活力につなげていくべく、その環境づくりに努めて参ります。



経営・技術委員会に関して

担当副会長 齊藤 卓也

主な活動内容は各種セミナー及びPRです。時流になる商材や情報に注目しセミナー内容を決定して参ります。今年度のテーマは『経営』をキーワードにして耳学から一步先に踏込んだ実践学が出来るように委員長を中心として検討します。その第一弾としまして(株)リンケージM.Iコンサルティングの長谷川博之先生を講師にお呼びして2月13日に燕三条ワシントンホテルにて経営セミナーを行います。奮ってご参加頂けますようお願いいたします。皆様のご参加をお待ちしております。



法改正に関して

担当副会長 星野 泰助

—新潟県工組青年部として自分はなにができるのか？なにがしたいのか？—

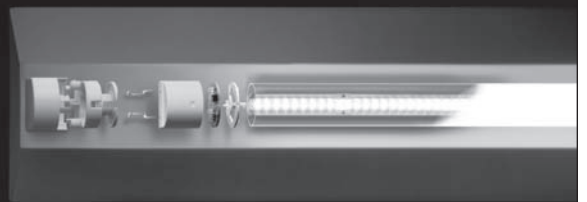
「情報化、IT化、自然エネルギー、省エネルギー」という言葉が聞こえる限り、そして電気

というエネルギーが存在する限り電気工事という業界は存在しなくてはならないし、今以上の技術力、知識が必要なのは明白です。その技術力、知識を活用し、継続していくための様々な免許、資格を持つエンジニアとしての我々電気工事業界の仕事を適正な価格で受注したい！と考えました。その一つの方法として発注者から直接発注して頂く法改正の議論が浮上し、各地方の青年部の皆様と議論する機会を与えて頂いた際には地方の特色、各会社の規模、経営方針によってその法改正への方向性への賛否ご意見を頂きました。「是非とも進めてほしい」「誰(どこ)にアプローチしていくのか?」「軽微金額物件はやめてほしい」等々・・・このことがどうなっていくのかは分かりません。直接発注をするのであれば我々個々の会社運営、技術力を向上する努力も必要です。更に議論を進めながら電気工事業界のために一步でも半歩でも0.1歩でも実現に向かって進んで行きたいと考えます。

Panasonic
ideas for life

LEDの光に、
かつてない美しさ。

粒々感が少なく、均一で美しい光を実現した
直管形LEDランプ搭載ベースライトです。



革新LED

EVERLEDS

エバーレッズ

※商品画像はイメージです。

お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
関東電材営業部 新潟電材営業所
〒950-2031 新潟県新潟市西区流通センター1丁目1番地3 TEL.025-260-7711
詳しくはホームページで www2.panasonic.biz/es/everleds/

経営力レベルアップセミナーを開催

平成25年11月29日（金）、中小企業大学校三条校において、経営企画推進委員会事業（新潟県中小企業団体中央会共催）の「経営力レベルアップセミナー」を開催し、13名が参加しました。

本セミナーは、昨年度までご好評を頂いて過去8年間に亘り開催していました「リーダー育成セミナー」の後継のセミナーとして企画され、初開催となりました。

講師には、前セミナーに引き続き㈱パートナーズプロジェクト代表取締役の高野裕氏をお迎えしました。



高野講師

開講にあたり、経営企画推進委員会の兼古委員長より挨拶を頂きました。

セミナーは、座学研修と受講生自己紹介の後、受講生を3チームに分け、チームメンバーのものの考え方、人柄等の理解とチームワークを高める目的で、「あなたは迷文豪」ゲームを実施しました。このゲームは、チーム毎に定められた題目について、チームの各人が1人一字ずつ書いていき、ひとつの文章を完成させるというものです。受講生は、作業中は相談してはいけないルールの下、チームの他メンバーが書いた文章に、どの文字を足したらよいか、とても頭を悩ませていました。作業後は、作成した文章をチームでまとめ、発表して頂きました。



チームでの議論



発表

続いて、チーム名（「いい肉旅立ち」、「スロースターター」、「どんぶらこ」）・各チームの「社長」を決定し、本セミナーのメインとなる玩具製造業会社の経営に関する事例研究に移りました。事例研究では、各チームで事例の問題点の把握・分析・整理・検討等の議論を重ね、議論の結果を発表して頂きました。

発表後、高野講師からの各チームの発表の講評を頂き、審査の上、「どんぶらこ（社長：新潟引込線工事㈱ 権平 裕様）」が最優秀チームに選ばれ、高野講師より賞品が授与されました。

最後に、経営企画推進委員会の兼古委員長並びに関川セミナー部会長から、参加賞と修了証が受講生それぞれに手渡され、関川セミナー部会長の閉会挨拶で、本セミナーを閉講いたしました。



最優秀チーム「どんぶらこ」

そして、その夜に開催された受講者交流会では、当日のセミナーの話題も含めて話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。

受講生の皆様、大変お疲れ様でした。

今後のお仕事に本セミナーで学んだ事を活かしていただけたら幸いです。



参加者集合写真

第30回

電気工事業全国大会(関東・横浜)に参加!

11月14日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催、関東電気工事会主管による第30回電気工事業全国大会（関東・横浜）が、神奈川県横浜市の「パシフィコ横浜国立大ホール」（基調講演・大会式典）並びに「ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル」（意見交換会・交流会）において、全国の組合員、青年部、御来賓など約1,900名参加のもと盛大に開催され、当工組からは親会5名、県青年部11名、事務局3名の計19名が参加しました。

今回で第30回目となる大会は、メインテーマに『ひろがれ、つながれ、地域の絆!!』、サブテーマに、

- ①安全と安心で地域社会に貢献!
- ②環境とエネルギーの調和を目指した明日へ!
- ③若い力と情熱で、伸ばそう伸びよう次世代へ!

の3つを掲げ、午前中に「基調講演」、午後からは「意見交換会」「大会式典」「交流会」が開催されました。また、会場内では参加型イベント（フォト・キャラ）やメーカー展示コーナー、物産コーナーも併設されました。



会場前にて記念撮影（親会）

午前10時30分より行なわれた「基調講演」では、柏木孝夫氏（国立大学法人 東京工業大学 特命教授）を講師に迎え、『電力システム改革

による新しいビジネス展望』をテーマにご講演いただきました。

続いて13時より行われた「意見交換会」では、「再生可能エネルギーとしての太陽光発電について」「省エネルギーについて」の2つのテーマについて意見交換が行われました。本意見交換会には、当工組親会から小林理事長、県青年部から品田会長はじめ11名の計12名が参加しました。（意見交換会の詳細は別掲の県青年部記事をご覧ください。）



会場前にて記念撮影（青年部）

続いて14時40分より行われた「大会式典」では、中川正則関東電気工事会会長による開会宣言、米沢寛全日電工連会長の主催者挨拶、来賓祝辞、全日電工連会長表彰（組合役員功労）、優良事業工組表彰・発表、意見交換会報告、大会決議、青年部意見発表、次回開催地挨拶、第1回技能大会紹介等が執り行われました。

また、今年度より新設された「優良事業工組表彰」では、応募25事業の中から「北海道電気工事業工業組合（事業内容：引込線工事士資格制度と引込線工事一括受託事業について）」が金賞に輝きました。

大会式典終了後に行われた「交流会」では、終始和やかな雰囲気の中、全国の組合員、青年部の皆様との交流を深めることができました。今大会の開催にご尽力されました関係者の皆様、大変ありがとうございました。



大会式典

(別掲)

第30回電気工事業全国大会 「大会決議」

「安全・安心の提供」は、我々にとって永遠のテーマであり、東日本大震災をはじめとした自然災害の頻発している現在、電力の安定供給を担う業界として、更なる電気保安の確保、施工品質の向上に努める使命感とお客様に地域社会を支えるインフラである電気を24時間届けるという誇りを一層強くするところでもあります。

第86回通常総会において決議したとおり、今般の電力システム改革案については、電気保安の確保を大義とする立場から、第二段階までの改革は、時代の趨勢もあり時宜を得たものと理解するものの、第三段階の発送配電の法的分離については電気事業の過去の歴史、諸外国の例を見るまでもなく懸念される事項が多く明確に反対するものであります。

また、東日本大震災被災組合員に対する相互扶助の精神の発露に見られるように、固い組織であり、絆の強い組織であることが内外共に高い評価を頂いております。このようななか、本年6月「災害時支援に係わる全国工組連携協定」を締結致しました。

本日多くの組合員が集い国際都市横浜市において、「ひろがれ、つながれ、地域の絆！」をメインテーマに、災害時の支援のみならず、あらゆる観点から、我々

中小企業者が一致結束し、相互扶助の拡大を確かめあうことと致しました。

また、サブテーマには、1 安全安心、2 環境とエネルギーの調和、3 次世代への継承を掲げ、将来に向けての電気工事業界のあるべき姿について、基調講演を基に、各界の皆様方のご提言も頂き意見交換会を通じ討議しました。

本日、ここに全国各地から参加した組合員代表、青年部代表の総意として次の通り決議致します。

- 1 国益の確保、環境とエネルギーの調和を第一とした、エネルギーの安定供給体制に向けて、電気のプロとしての強い自覚を持ってエネルギーの新たなベストミックスを発信する。
- 2 お客様から信頼される街の電気ドクターを目指すとともに、社会貢献による存在価値の向上を目指す。
- 3 社会や業界の将来を見据えた、横に拡げる頑張る組合員の拡大により、次代を担う後継者育成を行う。

以上、関係行政、関係団体・企業等のご指導ご支援を頂きながら、これらの課題解決に向かって組合員の強い絆のもと邁進することを決議する。

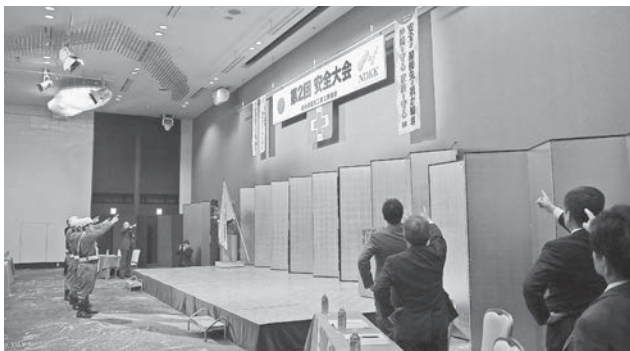
平成25年11月14日
第30回電気工事業全国大会

第2回安全大会を開催

平成25年11月18日（月）、「ANAクラウンプラザホテル新潟」において、関係者83名が参加し開催されました。

1部は安全大会、2部は講話で構成され、その後に懇親会が行われました。

1部は、インストラクター専門部会を代表して4名の方による、大会旗入場でスタートしました。続いて、村田部会長の発声により、大会スローガン「安全が 最優先の我が職場 仲間を守る 家族を守る」を参加者全員で唱和しました。



大会スローガン唱和



末永様 祝辞

荻荘引込線事業委員長から「開会宣言」、小林理事長から「開会挨拶」を頂き、ご来賓の方を代表して、東北電力㈱新潟支店 副支店長 お客さま本部長 末永 和弘 様より祝辞を賜りました。

事例発表として、上越支部の㈱セフティ上越と村上支部の㈱村上協電より、日々の安全活動について発表を行って頂きました。

最後に、参加者代表として、引込線会社連絡協議会の山本会長が安全宣言を読み上げ、小林理事長に手渡して、1部を終了いたしました。

2部の講話は、中央労働災害防止協会の公認KYTインストラクター並びに公認交通KYTインストラクターの村田部会長より、「安全は心のクリニック」という演題で、ご講演を頂きました。続いて、東北電力㈱新潟支店 お客さま本部 配電グループ 配電部長 堀越 和宏 様



㈱セフティ上越 発表



安全宣言



村田部会長 講話

より、「住宅リフォーム工事における感電災害の防止について」という演題で、ご講演を頂きました。

最後に、横田副理事長の「閉会挨拶」で、安全大会を閉会しました。

今回、開催にあたりご協力を頂きました、インストラクター専門部会の皆様方、並びに発表いただいた皆様方、大変ありがとうございました。

また、東北電力㈱の堀越様には、ご講演頂き、大変ありがとうございました。

ご参加頂きました皆様方、大変ありがとうございました。

今後とも日々の安全作業よろしく願いいたします。

平成25年度

優秀施工者国土交通大臣顕彰

去る10月17日、平成25年度優秀施工者国土交通大臣顕彰の顕彰式が、東京都港区メルパルクホールで行われ、技術・技能が優秀で、他の模範である施工者が顕彰された。

当工組より、第一電設工業株式会社 斎藤民雄氏が多くの電気設備工事に携わり、優秀な施工実績を残しているとして顕彰された。

▼平成25年度

優秀施工者国土交通大臣顕彰

第一電設工業 株式会社

工事部工務課

斎藤 民雄 氏

(新潟支部)

第21回

新潟県優秀施工者表彰

去る11月1日、第21回新潟県優秀施工者表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行われ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当工組より、株式会社荻荘電機 金田隆洋氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼第21回 優秀施工者新潟県知事表彰



株式会社 荻荘電機

第二工事部 課長

金田 隆洋 氏

(新潟支部)

平成25年度

新潟県知事表彰

去る11月14日、平成25年度新潟県知事表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行われ、同一業務に長年継続して従事し、その業務について特に著しい功績を挙げた者が表彰された。

表彰式では、当工組から一般功労者として副理事長の小島重光氏が、長年にわたり優れた技術力で高い評価と信頼を得て、他の模範として認められるとして表彰された。

▼平成25年度 新潟県知事表彰



小島電設 株式会社

代表取締役会長

小島 重光 氏

(魚沼支部)

第27回

▼第27回 消防設備保安功労者表彰

消防設備保安功労者表彰

去る10月31日、第27回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保安功労者として副理事長の小島重光氏が、地域社会における消防設備並びに火災報知機等の普及推進と、消防設備に係る安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。



小島電設 株式会社
代表取締役会長
小島 重光 氏
(魚沼支部)

平成25年度

▼平成25年度 消防設備保守関係者表彰

消防設備保守関係者表彰

去る11月1日、平成25年度の消防設備保守関係者等表彰式が、東京都港区明治記念館で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保守関係者として前理事の金子正勝氏が、地域社会における非常用予備発電設備及び消火器等の一般普及、並びに消防設備に係る安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、一般財団法人日本消防設備安全センター理事長から表彰された。



株式会社 新日興業
代表取締役
金子 正勝 氏
(佐渡支部)

情報伝送システム企業へ

平面アンテナ+家庭用ブースター



(オフホワイト) (ライトブラウン) (ブラックブラウン)

地上デジタル放送用 UHF アンテナ DIGI-ATCH 20+

UAH810 (カラー/バージョンは UAH810 のみです。) UAD1810 (ブースター内蔵タイプ)

3つの No.1 高利得 薄さ 小型 軽量化 ※1 + 省施工

※1 2012年3月現在、当社調べ、20素子相当の家庭用平面(薄型)アンテナにおいて。



(増幅部) (電源部)

低雑音

NF 1.5dB 以下!

CS/BS-IF・UHFブースター GCU33L2



環境と人にやさしい DX アンテナ株式会社

www.dxantenna.co.jp

新潟営業所 TEL(025) 276-2166 (代) 〒950-0822 新潟市東区新潟山2丁目1番14号

長岡支部

「わんぱく建築工作まつり」で業界をPR
電池で動くプラモ工作に300人

去る9月21～22日の両日、長岡造形大学で開催された「わんぱく建築工作まつり」に電池で動くプラモデル工作で参加して、親子連れの小学低学年の子供たちに人気を博すとともに、電気工事業界を広くPRした。

この「建築工作まつり」は長岡市主催の長岡デザインフェア2013のイベントの中のひとつとして行われたもので、協同組合として今回で6回目の参加となった。

今回の出し物は、例年人数制限するほど人気のある「電池で動くおもちゃ工作」2種類を300個用意して臨んだが、両日共に開場と同時に行列ができ、予定したプラモは瞬く間に終了した。

両日は正副理事長と各事業委員長、担当する総務委員会メンバーの延べ12名が出動して、設営や受付、工作の制作指導などに当たり、昨年



親子でおもちゃ工作

図れた。これをきっかけに参加の小学生や親たちが将来、わが電気工事業界を意識してくれればと期待するものです。

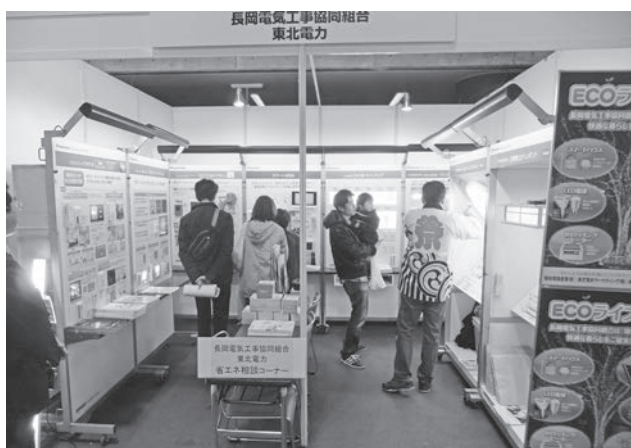
わんぱく建築工作まつりチラシ

「みんなの防災フェア・
スマートエネルギーフェア」に参画
来場者に省エネ・節電、
HEMSをPR

テレビ新潟主催による「来て、見て、学ぼう!みんなの防災フェア」と同時開催の「スマートエネルギーフェア」が去る11月23日(土)・24日(日)の2日間、ハイブ長岡において開催され、協同組合として初めて参画して来場の一般ユーザーさん等に省エネ・節電商品とHEMSのスマート関連機器などを展示ユニッ

トボードで説明・PRするとともに、組合と組合員を紹介するパンフで電気工事業界をアピールした。

フェアの来場者は15,420名を数え、屋外会場には40Mはしご消防車や工作車などの特殊車両十数台が展示され、試乗に親子の長い行列ができた。また、屋内会場では国はじめ行政機関とメーカーや企業のブース41個が設置されて、防災用品等の展示・PRが行われた。



防災・スマートエネルギーフェア

そしてフェアでは、主催のテレビ新潟が特別番組で会場から生中継をしたうち、当協同組合ブースで2回にわたり齊藤理事長がインタビューを受け、HEMSと組合をPRした映像が放映された。



齊藤理事長のインタビュー

このフェアは東北電力(株)長岡営業所さんの全面協力により組合として参画したもので、両日も経営委員会のメンバーが出動して、来場の一般ユーザーさん等に分かり易く丁寧に説明し対応するなど、技術・技能者として提案型技術営業の一端を担った。

社会ニーズに素早く応え、人間らしく、豊かで
快適な生活環境をサポートします。



大阪ヒューズ株式会社

仙台支店

〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目10番3号

TEL 022(225)7577 FAX 022(225)3288

関連会社：株式会社オーエフ青森

青森県弘前市大字岩賀1丁目5番地の1
TEL0172(37)5604 FAX0172(37)5603

上越支部

支部旅行

支部初めての試み 高所作業車運転技能及び 特別講習会

建災防新潟県支部様・アイチコーポレーション様の協力のもと、上越支部で初めての試みとなる高所作業車運転技能講習及び特別講習会を開催いたしました。

10月29日～10月31日までは10m以上、11月2日は10m以下の講習で、総勢39名の参加がありました。この講習には組合所有の高所作業車を2台活用して、組合員の参加費用を軽減するようにし、少しでも組合員の負担が軽くなるよう工夫いたしました。途中バケットのスイッチが壊れるアクシデント等もありましたが、参加者全員合格されたということで大成功となりました。

お忙しい中朝早くから、学科講習や実技講習試験にと大変お疲れ様でした。



高所作業車運転技能講習

今年は2年に一度の、支部研修旅行の年です。去る9月28～29日に、駒ヶ岳・妻籠宿・天竜舟下り・下呂温泉の旅へ行ってきました。

駒ヶ岳ではロープウェーで登るにつれて雲を突き抜け、千畳敷につくころには素晴らしい景色が広がっていました。天竜舟下りは秋の風も心地よく、穏やかな流れに身をゆだねていたのもつかの間、一転して激流に舟がもまれて、大変なスリルを味わってきました。



妻籠宿

そば打ち体験もインストラクターの指導のもと、そばを伸ばしたり切ったりと、楽しいひと時を過ごしました。そばの太さは人それぞれ、参加者皆さんの個性がよく出ていました。



そば打ち体験

県青年部

「全国電気工事業青年部 ブロック交流会」及び 「全国大会 意見交換会」に参加して

11月13日（全国大会前日）、ローズホテル横浜にて全国電気工事業青年部ブロック交流会が『全日本一本化へ向け青年部協議会会員の情報交換・懇親を図る』をテーマに、全関東ブロックの主管、中国ブロックによる司会進行により開催されました。参加数は450名を超える規模となり、会場は大勢の人で埋め尽くされました。席はくじにより決定し、冒頭に関東電気工事青年部連合会 植草会長、全国青年部協議会 堀口会長による挨拶が行われ、乾杯の後、他県の青年部との交流、情報交換が行われました。新潟県青年部からは10名が参加しました。

途中で各ブロックによる紹介の時間も設けられました。我々東北ブロックは、参加者全員がステージに上がり、東北七県青年部 菅野会長（岩手）による挨拶、そして東北各県代表者の挨拶が行われました。他ブロックの印象は、西へ行くほどパフォーマンスが賑やかになる傾向だったようです。



ブロック交流会

翌11月14日全国大会では、式典の前段に「意見交換会」が開催されました。

今回は、意見交換会参加者への事前のアンケート及び午前中の基調講演を基に、予め指定されたテーマに沿って行われました。

会場はインターコンチネンタルホテルにて、スクール形式で各県毎に座席が指定され、従来の意見交換会とは違う趣向で開催されました。

新潟県は小林理事長と青年部11名の計12名でテーマ「省エネルギーについて」に参加しました。当初青年部事業計画では、青年部役員全員の参加を計画しておりましたが、今回は各県の参加人数を制限されてしまったため、全員参加を断念した上での参加となりました。



ブロック交流会

意見交換会前段の基調講演でお話いただいた電気業界を取り巻く諸問題について、例えば電気事業法改正など、これを今後どのようにしてビジネスチャンスをとらえていくか、業界として、工組として、青年部としてどう取り組むか、今後の課題として参加者の共通の認識となりました。また、参加者の多くからはもっと意見交換がしたかったという感想が聞かれました。

（全国大会全体のご報告につきましては、本誌内の別記事にて掲載されておりますので、割愛させていただきます。）



意見交換会

長岡支部青年部

復活 長岡駅前
イルミネーション！

12月1日 ペDESTリアンデッキ完成に伴い、一時駅前でのおおけやきのイルミネーションを取りやめていましたが今年は長岡駅前のイルミネーションの取付作業を行いました。作業当日、朝は雷雨が降りしきる中、どうなることかと思いましたが、作業がはじまると雨もそこそこに納まり、高所作業車5台による総勢27名で朝6時半から夜8時にかけて無事イルミネーション取付作業を完了させました。



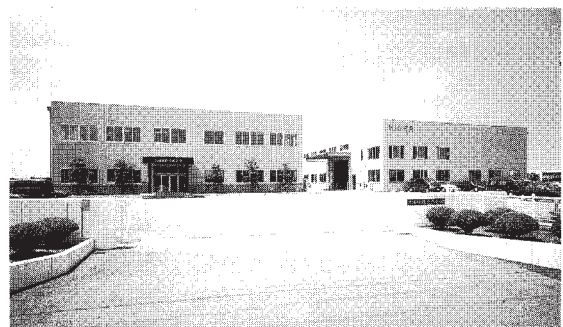
12月4日 イルミネーションが点灯すると長岡駅前ペDESTリアンデッキをあるく市民も足を止め、スマホで撮影する市民の方々もちらほら。駅前の取付は2年のブランクもあり、長岡支部内での組合員の入れ替わりも多く、初参加する会員も多い中での作業でしたが、イルミネーションの取付という協同作業を通して改めて団結できたのではと思います。

最後に、この場をお借りしまして長岡支部イルミネーション事業に御尽力・御協賛頂きまし



た長岡市中心市街地域活性化協議会、長岡商工会議所、東北電力(株)長岡営業所、東北電力(株)企業グループ、長岡電気工事協同組合、新潟ミツワ電機(株)長岡営業所、丸新電機照明(株)長岡支店、昭和電機産業(株)長岡支店・岡田電気産業(株)長岡営業所・(株)長岡日本アンテナ東芝電材マーケティング(株)新潟支店長岡営業所・久住電気(株)に厚く御礼を申し上げます。

(敬称略)

先進技術による
配電盤と電気工事

東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小名隆一

本社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381
FAX (025) 274-0385
柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257) 24-3739
東港工場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025) 255-4201

小千谷支部青年部

突風に戸惑わないために

小千谷支部青年部では去る11月22日に経営セミナーを開催しました。この経営セミナーは自社の元請化などを主眼として開催したものです。講師には提案型技術営業実践マニュアルの作成にもご協力いただいた株式会社リックの前代表取締役で現顧問の小原哲郎氏にお越しいただきました。



近年、電気工事業界はめまぐるしく状況が変わって来ている様に見えます。建設需要の落ち込みからオール電化、太陽光発電、LED照明といった新商材の登場、3.11以降の電力需要の激変とそれによる商材変化、更には消費税増税直前の駆け込み需要と政府の公共投資とがあいまった建設活況と、乱高下に近い有様とって過言ではないと考えます。そうした中で、いかにして自社が存続するか、またこういったことを乗り切るか、ということではなく「自社を存続させていくか」ということが重要であると考えま

す。今をどう生きるかではなく、どのような状況にあっても持続可能な体制・方法を作っていくか、がより重要になると考えます。小原講師からは市場の動向、商材の変化などを踏まえ、変わった点と変わらない点を見極め、お客様に対して何をお伝えしていくか、どのようにお伝えしていくか、ということをも具体例を踏まえてお話いただきました。具体例では今回のセミナーに併せて新潟県内の会社で取り組まれている先進的な事例の紹介があり、また同年代の電気工事士が社長として成功するまでの立志伝の話ありと、あっという間のセミナーとなりました。

今の建設好況は社会の流れの中で作られ、与えられたもので、ここにばかり目を取られては持続可能性は低くなるのだと痛感しました。成功事例で語られた会社に共通していた点はお客様本位であることは勿論ながら、その中でも自らの、自らによる、自らのための電気工事という芯が感じられたということです。今回のセミナーで、今まで以上に次代を自分で作る、そしてそのためには今が大切である、ということをも深く心に刻ませていただきました。



柏崎支部青年部

秋の活動報告

柏崎支部青年部では夏の終わりから年内中に教養研修会兼納涼会、耐圧試験、ボランティア、レクリエーション兼忘年会を行っております。

まず、9月6日(金)に教養研修会兼納涼会を行いました。

本年度は県青年部でも力を入れておりますサイボウズについて、講師に県本部の西村様をお招き致しまして再度勉強させていただきました。

パスワード忘れの方は事前に県本部にてリセットしていただき、新たな気持ちで予習・復習できその後も徐々に活用されているかなって感じです。

これを期により一層活用出来るように策略を考えている次第です。

次に10月5日(土)、秋の耐圧試験を行いました。

春の部と秋の部を2班に分けて柏崎電気工事共同組合会員会社様の保護帽・高圧手袋・高圧長靴・高圧検電器の耐圧試験を行っております。春は胴綱も含めて実施しています。



次に11月16日(土)、ボランティア活動を実施いたしました。

本年度は潮風荘という介護福祉施設にて照明器具・換気扇・エアコン等の清掃・メンテナンスを行いました。介護士の不足している昨今、

なかなか職員では手と目の届かない、またはやりきれない部分を私たち青年部で少しでもお力添え出来ないかと考えお手伝いさせていただいております。職員はじめ入居者の方々にも大変喜んでいただき青年部一同やりがいのあるボランティア活動ができたと思っております。

11月28日付 新潟日報に掲載

11月28日付 新潟日報に掲載

11月28日付 新潟日報に掲載

最後に12月7日(土)、レクリエーション兼忘年会を行いました。

青年部をはじめ、工事組合のスタッフ・問屋様も参加していただき、ボーリング大会を行いました。仕事の事を忘れ、みんなで大いに盛り上がりおりました。

その後忘年会兼表彰式を行い、2013年を無事楽しく終了できたことを皆様にも感謝申し上げるとともに、今後とも柏崎を盛り上げていける、活気ある青年部を創り上げていきたいと考えておりますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



新潟県電気工事工業組合担当による 第一種電気工事士定期講習の開催について

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

新潟県電気工事工業組合が所属する『(一財)電気技術者試験センター』にご登録している方につきましては、受講時期に合わせてご自宅へ「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。ご登録いただいている方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。

【問い合わせ先】

新潟県電気工事工業組合 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6-1203 TEL 025-229-1587

平成25年度 第一種電気工事士定期講習会開催

開催日	会場	
平成26年1月22日(水)	燕三条地場産センターメッセピア	5階 総合研修室
1月28日(火)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
3月3日(月)	〃	〃
3月11日(火)	燕三条地場産センターメッセピア	5階 総合研修室

平成26年度 第一種電気工事士定期講習会開催(予定)

開催日	会場	
平成26年4月8日(火)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
6月19日(木)	燕三条地場産センターメッセピア	5階 総合研修室
7月2日(水)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
7月13日(日)	燕三条地場産センターメッセピア	5階 総合研修室
7月15日(火)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
8月7日(木)	アミューズメント佐渡	小ホール
8月20日(水)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
8月26日(火)	燕三条地場産センターメッセピア	5階 総合研修室
9月2日(火)	〃	〃
9月4日(木)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
11月4日(火)	〃	〃

■新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所2-2-2 TEL 025-281-5511

■(財)燕三条地場産業振興センター メッセピア 三条市須頃1-17 TEL 0256-32-2311

■アミューズメント佐渡 佐渡市中原234-1 TEL 0259-52-2001



講習会の注意事項

- 講習会は9:45~16:45(受付9:00~)
【いかなる理由があっても10分を超えての遅刻は認められません】
交通事情などで遅れる場合は別の日に振替えますので、10分を超えそうな場合は、会場に向かわずにご連絡下さいますようお願いいたします。同様に1科目でも10分を超えての遅刻または途中退席(早退含む)した場合、いかなる理由があってもその日の受講(全科目)は認められません。
※科目別受講は認められません。
- 当日、受講票・写真票(写真を貼ったもの)・免状を忘れた方は受講できません。
持ち物の確認をお願いいたします。特に写真の貼り忘れにはご注意下さい。
- 講習会場でのお弁当販売は日にちによって異なります。受講票を確認下さい。

組合員の異動

平成25年10月～平成25年12月理事会承認分

日付		支部	
H25.10.1	新規	新津	(株)浄化槽技術センター
H25.10.1	譲渡	新潟	村松電気 → コーテック
H25.10.1	譲渡	三条	白井電機商会 → 田中電気
H25.10.31	脱退	長岡	栗林電気商会
H25.12.18	新規	新発田	坂井電気
H26.3.31	脱退	長岡	(株)五十嵐電業所
H26.3.31	脱退	上越	星和電業

組合員の変更

平成25年10月～平成25年12月組合提出分

支部	事務所	変更箇所	変更前	変更後
新潟	島村電気	商号	(有)島村電気	島村電気
上越	新興電設商会	代表者	高橋三治	永井友二
	長崎電気商会	住所	〒943-0893 上越市大貫2349	〒943-0893 上越市大貫3-8-3
	山口電機商会	住所	〒943-0893 上越市大貫1067-9	〒943-0893 上越市大貫1-11-1
魚沼	イズミヤピティモ(株)	商号	泉屋電機店	イズミヤピティモ(株)
		住所	〒949-7104 南魚沼市寺尾234-1	〒949-7104 南魚沼市寺尾1314
	大進電気	代表者	高橋一男	高橋明生

組合の保険って?!

～ Donna ☆ Konna ～



「全日電工連 グループ共済制度」

平成26年3月1日、更新をむかえます!

3月1日更新月からの「変更・新規加入」等は、平成26年1月17日迄にお手続きをお願いいたします。(既にご加入いただいている方は、自動更新になります。)

～保障内容～

- ① 病気による死亡・高度障害 (第1級)
- ② 不慮の事故による死亡・高度障害 (第1級)
- ③ 不慮の事故による障害 (第2級～第6級)
- ④ 不慮の事故による入院

制度の特色と利点

- ◎事業主および従業員の遺族保障に役立ちます。
※ご請求時には遺族の了知(署名・捺印)が必要です。
- ◎団体一括加入の制度なのでお手頃な掛金で高額の保障が得られます。
- ◎契約は1年ごとに更新しますので、社会・経済情勢の変化にも対応できます。
- ◎契約更新日は毎年3月1日です。
- ◎健康で正常に勤務している方であれば、簡単な告知のみでお申込みいただけます。
- ◎毎年収支計算を行い剰余金が生じた場合は、配当金が支払われます。(ただし、保険期間の途中で脱退された方には支払われません。)
※配当率は支払時期の前年度決算により決定しますので、将来支払われる配当金額は現時点では確定していません。また、支払保険金の多寡などにより配当金は大きく変動します。
- ◎掛金は、損金または必要経費に算入できます。

平成26年度版

全日電工連 グループ共済制度のご案内

(災害保障特約付団体定期保険)

制度の特色と利点

- ◎事業主および従業員の遺族保障に役立ちます。
※ご請求時には遺族の了知(署名・捺印)が必要です。
- ◎団体一括加入の制度なのでお手頃な掛金で高額の保障が得られます。
- ◎契約は1年ごとに更新しますので、社会・経済情勢の変化にも対応できます。
- ◎契約更新日は毎年3月1日です。
- ◎健康で正常に勤務している方であれば、簡単な告知のみでお申込みいただけます。
- ◎毎年収支計算を行い剰余金が生じた場合は、配当金が支払われます。(ただし、保険期間の途中で脱退された方には支払われません。)
※配当率は支払時期の前年度決算により決定しますので、将来支払われる配当金額は現時点では確定していません。また、支払保険金の多寡などにより配当金は大きく変動します。
- ◎掛金は、損金または必要経費に算入できます。

ご加入にあたっては、4～7ページ記載の「契約概要・注意喚起情報(重要事項のお知らせ)」および「往友生命からのお知らせ」を必ず確認のうえ、申し込んでください。

【個人情報の取扱いについて】
全日電工連は、この保険契約に基づいて入手する個人情報を引受保険会社に提供します。また、全日電工連は、入手した個人情報について、この保険の手続きおよび以外には使用いたしません。取扱いの内容につきましては、加入申込書等関係書類をご確認ください。

全日本電気工業労働組合連合会

〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL 03-5332-5881 FAX 03-5332-6855
E-MAIL: zennichi@znd.or.jp

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025(229)4101

<資材部門> TEL 025(229)1586

印刷：株式会社 大創

2014
謹賀新年



心新たに 新たな出発

新潟県電気工事工業組合